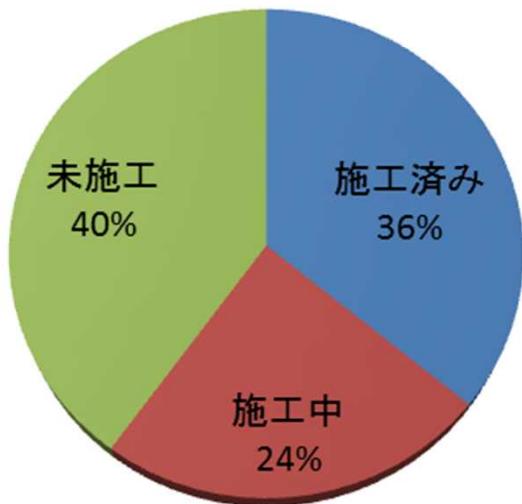


## 登録基幹技能者の活用に関するアンケート結果について

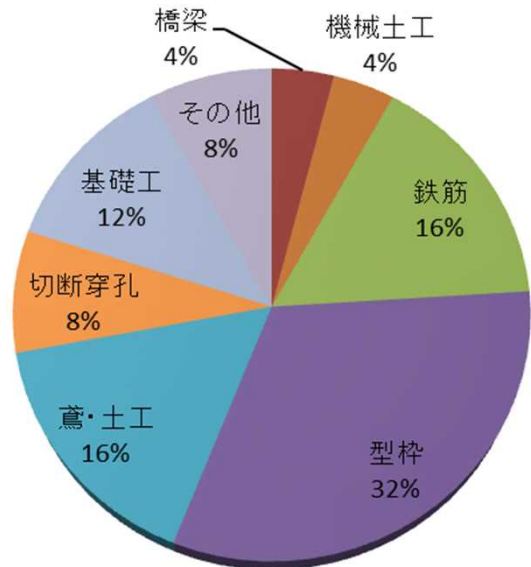
- 平成26年度から評価項目として追加した「登録基幹技能者の活用」に関するアンケートを実施しました。
- アンケートの回答期間は平成27年1月21日～2月3日で、簡易申請システムにて実施。
- 対象は平成26年度上半期に総合評価落札方式で発注した工事の請負者(元請け)を対象として実施。

アンケート対象: **32工事(24業者)** 有効回答数: **25工事(22業者)** 回答割合 **78%(92%)**

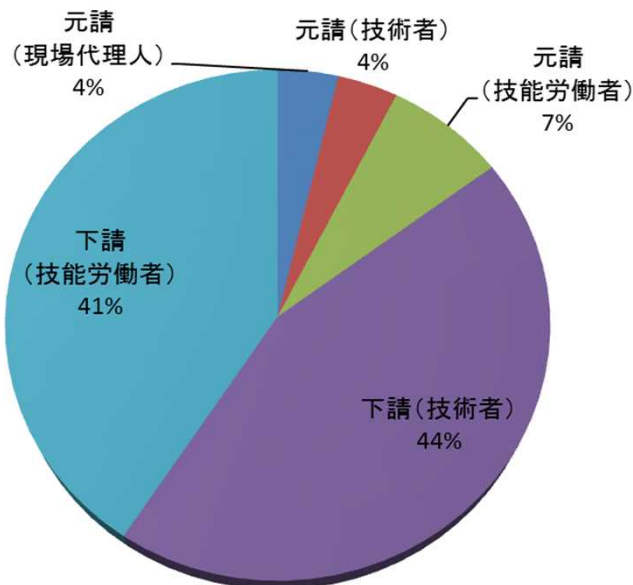
問1 登録基幹技能者の活用対象工種の施工状況(複数回答有)



問2 現場に配置した(する)登録基幹技能者の職種(複数回答有)

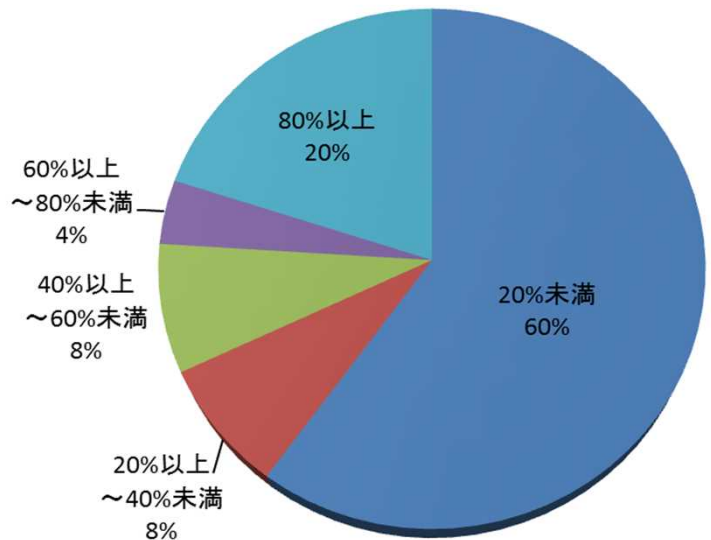


問3 現場に配置した(する)登録基幹技能者の立場(複数回答有)



問4 現場に配置した(する)登録基幹技能者の配置期間

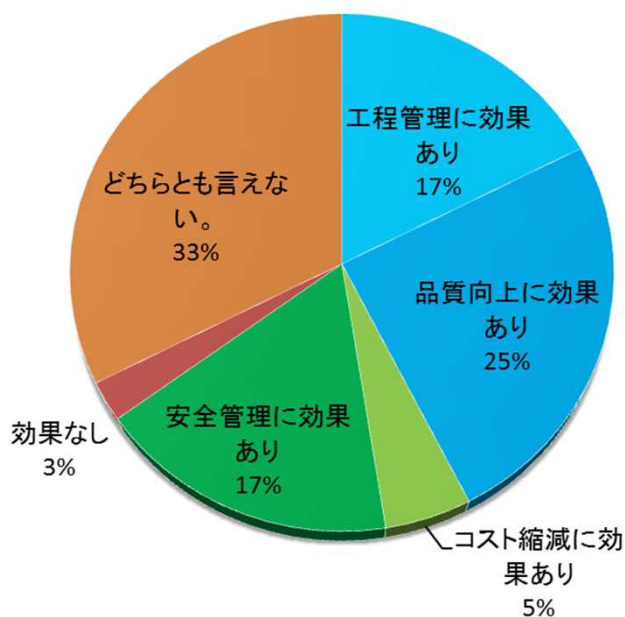
(例)鉄筋 施工期間20日 配置期間2日 →10%



●元請け**15%**、下請け**85%**の割合となっている。

●現場配置期間20%未満という回答が**6割**と多い。

## 問5 登録基幹技能者の配置した(する)効果 (複数回答有)



●効果あり64%、効果なし3%、効果不明33%となっている。

## 問7 登録基幹技能者の活用に関する自由意見

○基幹技能者を評価対象とすることが、事前周知が徹底されていなく当初戸惑いがありました。資格取得に一定の期間を要することなどから、猶予期間があったらよかったですと思います。今後評価対象に加える事項については、数年単位の周知準備期間を頂きたいと思っております。

○機械土工→土木一式の土工事であって舗装工事の土工(路盤改良、舗設)には該当なしと聞いたが本当なのだろうか？信じたいが。

○品質確保等にとって、とても良い活用だと思えます。ただ、自社に登録基幹技能者がいれば問題ないのですが、下請業者からの選定になると業者が限られてくるのではないかと懸念があります。県の方からも技能者の登録へ向けて推進をしていただけると各会社のレベルアップにつながるのではないかと思います。

○登録基幹技能者の配置は、基本元請にしていきたい。

○主たる工事に活用するのであれば活用意義があるが、工事全体の数%にしか反映されないと、あまり意味を持たないような感じがします。法面工事において、登録基幹技能者制度は現在活用できないと考えられる。

○下請業者の中で資格取得者が少なく入札時に下請業者が決まってしまう、競争にならなくなっている。下請業者へ資格取得を推奨しても費用もかかることから、下請業者には負担になっている。

○逆に若年技術者の経験する機会を奪いかねないと感じた。

○登録基幹技能者を活用すると、下請け業者を使用した場合、足元を見られて、単価が設計よりかけ離れた単価を言ってくるので厳しい場合がある。

○講習費や試験費など、企業に負担がかかるような制度は採用しないで欲しい。

○基幹技能者には労務単価例えば交通誘導員A、Bのような単価差を設けるべきではないでしょうか。そうすると基幹技能者が増加すると共に、技能レベルもアップしてくるのではないかと考えます。

○今回、基礎工(現場打杭工)に登録基幹技能者の方を施工のアドバイスの人材として配置しましたが、施工にあたり、何ら難しい問題も起こらず、順調に完工しました。現場によっては、今までに経験したことのない諸問題が発生する可能性もあり、技能者の技術力、および経験値が役に立ち、工程の短縮・品質の向上に役に立つと思われま。

○登録基幹技能者の配置期間の制限はしないでほしいと思っています。

下部工などの工事進捗の遅れにより、予定していた登録基幹技能者をその配置できない場合が予想されるため。

○登録するための手間等が掛かるためか、一定水準以上の技能者でも未登録が見受けられ大分県内での登録者が少なく感じる。

○鉄筋職人等高齢化が進み、人材不足となっている今を解消する上で、技能者を増やしていくために、公共工事で活用してほしい。

○当社にて、本年度3名が登録機械土工基幹技能者の資格を取得することが出来ましたので、今後も引き続き評価項目としていただければ幸いです。

○登録型枠基幹技能者は一度工事現場に入ると現場から離れられず型枠組合に連絡を取っても空いた登録型枠基幹技能者はいません。登録型枠基幹技能者の数が足りない状況ですので評価項目から除外したほうが現状に合うものと思えます。

○下請での配置を予定している時、工種や工程の変更等で拘束期間が不規則になったり長期間におよぶ場合も予想されるため、活用等に関して慎重に検討をした方がいいのではないかと。

**○ご回答いただきました請負者の皆様、アンケートへのご協力をありがとうございました。**

## 問6 登録基幹技能者配置の具体的な効果

- ① 地盤改良工事の散布の仕方が均一にムラなく施工できた。
- ② 工務と現場の工事内容を把握しているため、工事の進み具合が円滑に行える。翌日の工事資材等の手配の面でも、現場施工と現場管理について把握できているため、毎日の工事の着手が早くできる。
- ③ 登録基幹技能者であるという本人の意識で品質確保に積極的であるため、他の作業員にも指導してもらえる。
- ④ 現場状況に応じた施工等の調整がスムーズである。
- ⑤ 精度を必要とする施工のため、他の作業員へ技術的指導を熱心に行っていた。
- ⑥ 品質に対するスキルや安全意識レベルが高いので現場としては、全ての面で有効に感じる。
- ⑦ 品質の向上(鉄筋のピッチ及び被りの確保)効果があり、工程の短縮が出来る。経験が豊富で作業に工夫がみられる。
- ⑧ 優れた技術力を持った鉄筋技能者により、作業員への指示、行動することによって、間違った製品がなくなり、品質向上につながった。
- ⑨ 熟練した作業能力と豊富な知識により、高い品質を確保でき、施工計画と管理について参画してもらう事により、適切な工程管理が行うことが出来る。